



2025年1月17日

火災による工場再建（案）



このたびの工場火災の報に接し、心よりお見舞い申し上げます。

今後の復旧・再建に向けて多くの課題を乗り越えられることと存じますが、どうか関係者の皆様が一丸となってこの難局を乗り越えられるよう、心よりお祈り申し上げます。

僭越ではございますが、今後のステークホルダーとの関係強化や、御社のさらなるご発展に寄与できればと存じ、いくつかのご提案をまとめさせていただきました。ご参考にしていただければ幸いです。

株式会社PROJECT-COM
代表取締役社長 小澤浩之

目 次

I. 工場の再建期間（約2年）の対応・・・P 1

1. 製造代替措置 2. 顧客の引き留め案

3. 工場で働く従業員への対応・・・P 4

①短期対応 ②中期対応 ③長期対応

4. 地域社会への対応・・・P 7

①地域住民への説明と情報共有 ②環境保全対策 ③地域イベントや活動への参加

④社会的責任の果たし方 ⑤防災・減殺の取り組み ⑥長期的な地域連絡

II. 従業員対策新規事業の提案・・・P14

1. 環境関連事業 2. 農業関連事業 3. 地域貢献型ビジネス 4. 個人向け製品事業
5. 教育・研修事業 6. エネルギー事業

III. イノベーション事業の提案・・・P21

1. サステナビリティ関連 2. デジタル技術との融合 3. 医療・福祉分野
4. エネルギー分野 5. ライフスタイル関連事業

I . 工場の再建期間（約2年）の対応

▶ 再建スケジュールの具体化

・ 短期計画（0～6か月）

- 。 被害調査と原因特定の迅速化。
- 。 工場再建計画を策定し、建設スケジュールを公表。
- 。 必要な許認可や行政手続きを進める。

・ 中期計画（6～18か月）

- 。 再建工事を進行。
- 。 新設備の導入計画を策定（効率性と安全性の向上を目指す）

・ 長期計画（18～24か月）

- 。 試運転と品質チェックを行い、操業開始を目指す。

I-3. 工場で働く従業員への対応①

5

①短期対応

雇用維持:

一時的な生産停止期間中も従業員の雇用を維持し、安心感を与える

業務再配置:

他工場への配属、または仮設施設での業務に従事できるよう調整

メンタルケア:

カウンセリングやサポート窓口を設置し、心理的支援を提供

I-2. 工場で働く従業員への対応②

中期対応

スキルアップ支援:

再建期間中、従業員向けに新たな技術習得や資格取得を支援する研修プログラムを実施。

一時的な派遣:

希望者に対し、協力企業やグループ会社への一時的な派遣を手配。

I-2. 工場で働く従業員への対応③

長期対応

再配置計画:

再建後の新工場でのポジションを明確化し、復帰を支援

インセンティブ提供:

再建後、長期的に勤務する従業員に対し、特別報酬や昇給を検討

I-3.地域社会への対応①

①地域住民への説明と情報共有

説明会の開催

- ・ 内容: 火災の経緯、原因調査結果、再建計画、地域への影響などを説明。
- ・ 形式: 対面またはオンライン形式で定期的に行う。
- ・ 目的: 情報透明性を確保し、不安や誤解を軽減。

専用窓口の設置

- ・ 対応: 火災による地域への影響（健康や環境）に関する問い合わせ窓口を設置。
- ・ 運用: 電話、メール、専用ウェブサイトに対応。

I-3. 地域社会への対応②

環境保全対策

環境調査の実施

- ・ 調査内容: 火災による土壌汚染、水質汚染、大気汚染の有無を調査
- ・ 公表: 調査結果を地域住民に報告し、必要な対応を説明。

環境回復プログラムの実施

- ・ 植栽活動: 火災の影響を受けたエリアでの植樹や美化活動。
- ・ 廃棄物処理: 火災後の残存物を適切に処理し、環境への影響を最小化

I-3. 地域社会への対応③

10

地域イベントや活動への参加

地域貢献活動

- ・ 火災後の復興に向けた地域の清掃活動やイベントを実施。
- ・ 学校や地域団体と協力してワークショップや教育活動を開催。

コミュニティ支援

- ・ 地域の伝統行事やイベントへの支援や協賛を通じ、地域社会との一体感を高める。

I -3.地域社会への対応⑤

11

防災・減災の取り組み

地域防災訓練の実施

- ・ 地元自治体や消防機関と協力し、防災訓練を実施。
- ・ 火災時の対応や避難方法についての知識を地域住民と共有。

防災設備の寄贈

- ・ 消火器や防災備蓄品を地域の学校や公共施設に寄贈。
- ・ 地域の防災力向上に貢献

再建のポイント

12

1. 工場再建期間中も生産や顧客対応が途切れない体制を整備し、顧客の信頼を維持。
2. 従業員に対しても明確な計画と支援を提供し、不安を軽減。
3. 再建後の新たな成長を見据えた体制強化を進める。
4. 地域社会を重要なステークホルダーとして信頼関係の維持を図る

Ⅱ-1. 従業員対策新規事業の提案

13

1. 環境関連事業

リサイクル素材の研究・製造

概要

廃プラスチックや産業廃棄物を再生利用する技術を活用し、リサイクル素材を開発。
環境配慮型製品や建材、内装材（例：リサイクル樹脂パネル）の製造を目指す。

メリット

工場で培った化学技術を活用可能。
環境問題への対応として市場需要が高い分野。
国や地方自治体の補助金・助成金を活用できる。

従業員活用

技術者は研究・開発チームに配置。
製造に関わる従業員はプロトタイプ製造や試作ラインに従事。

Ⅱ-2. 従業員対策新規事業の提案

14

2. 農業関連事業

▶ 概要

農業用資材（温室パネル、灌漑システム部品）の製造や、アグリテック分野への参入。

工場周辺地域での都市型農業（ハイテック植物工場など）の展開。

▶ メリット

地域社会との連携が図れる。

農業分野は持続的な市場ニーズがあり、将来的な安定性が見込める。

▶ 従業員活用

設備管理や農業技術のトレーニングを従業員に提供。

生産性向上を目指したIoTや自動化技術の導入で技術者を

Ⅱ-3. 従業員対策新規事業の提案

3. 個人向け製品事業DIY製品・家庭用品製造

▶ 概要

既存技術を応用して、DIY愛好家や一般家庭向け製品を製造。

▶ メリット

企業から個人へ事業領域を広げ、新たな収益源を確保。

顧客の直接的なフィードバックを得やすい。

▶ 従業員活用

製造現場の従業員が小ロット生産を担当。

マーケティング部門の設立により、新しいスキルを提供。

Ⅱ-4. 従業員対策新規事業の提案

16

4. プラスチック成形技術や安全管理の専門講座概要

- ・ 自社の技術や安全管理のノウハウを外部向けに提供する教育事業。
- ・ オンライン講座や地域での技術研修プログラムを展開。

▶ メリット

- ・ 自社の知見を収益化。
- ・ 自社ブランドの信頼性向上。

▶ 従業員活用

- ・ 経験豊富な技術者が講師を担当。
- ・ ITスキルを活用した動画制作や教材開発チームを編成。

Ⅱ-5. 従業員対策新規事業の提案

17

5. ソーラー発電施設の運営

▶ 概要

- ・ 工場跡地や未利用地を活用し、ソーラー発電事業を開始。
- ・ 再生可能エネルギーの売電を通じて収益を確保。

▶ メリット

- ・ サステナブルな事業として地域や顧客からの評価向上。
- ・ 比較的少人数で運営可能。

▶ 従業員活用

- ・ 設備管理や発電データの監視業務を担当。
- ・ 再生可能エネルギーの技術習得を支援。

Ⅱ-6. 従業員対策新規事業の提案

18

6. 地域商材を活かしたEC（電子商取引）事業概要

- ・ 工場周辺の地域特産品を販売するECプラットフォームを構築。
- ・ 自社ブランドとして地域資源を活用。

▶ メリット

- ・ 地域活性化に寄与し、企業イメージ向上。
- ・ 工場再建後も継続可能な事業。

▶ 従業員活用

- ・ マーケティング、物流、カスタマーサポートなど、新しい役割を提供。

ポイント

- ▶ 工場再建期間中の2年間は、従業員の雇用を維持しつつ新規事業で企業価値を高める重要な時期です。既存技術や地域資源を活かした持続可能な事業を選定し、短期間で開始できる分野に優先的に取り組むことを目指します。
- ▶ どの事業も、再建後の本業とのシナジーを見込んで計画的に進めることが重要です。

新たな価値を創出するためのイノベーションと分野転換

- ▶ 工場火災という危機を転機と捉え、現代の課題や市場ニーズに応える新たな価値創出を目指すには有望な分野を考えました。
- ▶ これらの分野は、既存技術を応用できるだけでなく、長期的な成長が見込まれます。

Ⅲ-1. イノベーション事業

21

1. サステナビリティ関連

①再生可能素材の開発

- ・ **背景:** プラスチックの環境負荷軽減が世界的な課題。
- ・ **提案:** 生分解性プラスチックやリサイクル可能な建材の開発。
- ・ **価値:** 環境配慮型製品は企業や消費者からの需要が急増している。

②カーボンニュートラル支援技術

- ・ **背景:** 各企業が脱炭素化を求められる中、ソリューション提供が市場価値を生む。
- ・ **提案:** 工場向けの省エネルギー設備や、CO2排出削減を支援する素材開発。
- ・ **価値:** 技術力を活かしながら他業界にも貢献できる。

2. デジタル技術との融合

①スマート素材の開発

- ・ 背景: IoTやスマートホーム市場の急成長。
- ・ 提案: 温度変化や圧力を感知できる「スマート素材」を開発。
- ・ 価値: 建築分野や家電分野で高い付加価値を持つ製品として展開可能。

②デジタルツイン技術の活用

- ・ 背景: 製造業や建設業でシミュレーション技術の需要が拡大。
- ・ 提案: デジタルツインを用いた建材の耐久性検証や工場設計支援サービス。
- ・ 価値: 高精度な製品設計が可能になり、顧客満足度を向上。

Ⅲ-3. イノベーション事業

23

3. 医療・福祉分野

①医療用材料の開発

- ・ 背景：医療需要の増加と高齢化社会に対応。
- ・ 提案：滅菌性や耐久性に優れた医療用樹脂の製造。
- ・ 価値：医療機関からの信頼性確保で長期的な収益基盤を構築。

②福祉関連製品

- ・ 背景：高齢化社会で介護用品や福祉機器の需要増加。
- ・ 提案：軽量で強度のある介護用器具や家具を開発。
- ・ 価値：高齢者の生活の質向上に寄与。

Ⅲ-4. イノベーション事業

24

4. エネルギー分野

①蓄電・断熱材料の開発

背景: 再生可能エネルギーの拡大に伴い、蓄電技術やエネルギー効率化のニーズ増加。

提案: 蓄電池用高性能素材や高効率断熱材の開発。

価値: 再生可能エネルギー市場での地位確立。

②小型モジュール型設備の開発

背景: 地域分散型エネルギーの重要性が高まる。

提案: 小型の太陽光発電設備や水素エネルギー対応素材の開発。

価値: 地域社会と連携した新規事業創出。

Ⅲ-5. イノベーション事業

25

5. ライフスタイル関連事業

①サーキュラーエコノミー対応製品

背景：消費者意識が環境配慮にシフト。

提案：分解・再利用可能な家具や生活用品の開発。

価値：「持続可能な消費」を促進するブランド価値の向上。

②プレミアムインテリア素材の提供

背景：建築業界やインテリア市場での個性重視のニーズ増加。

提案：独自デザインと機能性を兼ね備えた高級素材の製造。

価値：高付加価値製品で競合との差別化。

実行に向けたステップ

1. **市場調査**: 各分野のニーズを精査し、最も効果的な市場に参入。
2. **技術開発**: 自社技術や知識を活用し、競争力ある製品を設計。
3. **パートナーシップ**: 他企業や大学、研究機関と連携し、技術力を補完。
4. **プロトタイプと試験**: 実用化に向けた試作品を作成し、顧客や専門家からフィードバックを得る。
5. **事業展開**: 試験結果をもとに、拡大計画を立案。